

謹賀新年

市民の皆様には、  
令和2年の新春を健やかに迎えのことと  
心からお慶び申し上げます

謹んで新年のご挨拶を申し上げます

新年明けましておめでとうございます。市民の皆様には、健康で、希望に満ちた新春を迎えられましたことを心よりお慶び申し上げます。旧年中は、市議会に温かいご支援、ご指導をお寄せいただき、心より厚くお礼申し上げます。昨年を顧みますと、5月1日に新たな天皇陛下が即位され、「令和」の時代が始まりました。新しい御代の幕開けを寿ぐと共に、長きにわたる築き上げられた我が国の歴史に改めて思いをいたしつつ、これからも平和な時代が続き、皆様の暮らしが豊かで幸福なものとなることを心から願っております。

一方で、日本列島は昨年も多く、自然災害に見舞われました。特に、8月の九州北部地方の大雨、9月の台風15号、10月の台風19号と、いずれも記録的な豪雨や強風により甚大な被害をもたらしました。本市においては、幸いにも人命に関わるような災害には至りませんでした。こうした災害に対する心構えや予防保全の重要性を改めて認識いたしているところであり、今年一年が大きな災害のない穏やかな年となりますことをお祈りいたします。現在、ほとんどの地方では、少子・高齢化の進行や過疎化などに歯止めがかからないことをはじめ、多くの課題に直面しております。本市においては、少子・高齢化、過疎化対策をはじめ、道路網の整備、地域経済の活性化、雇用の拡大、出産や子育て支援、若者の定住促進、農林水産業の再生等々に取り組んでいかなければなりません。また、防災・減災対策やインフラ設備の老朽化対策、公共施設のマネジメントなどにも迅速に対応し、市民の皆様が住みやすい、住み心地の良いまちづくりのために引き続き力を注いでまいります。

さて、今年はいよいよ東京オリンピック・パラリンピックが開催されます。大会での日本人選手の活躍をとても楽しみにしているところであり、本市は、東京オリンピック聖火リレーの長崎県のスタート地となつておりますので、世界遺産「原城跡」のPRとオリンピックの機運醸成に向けて、南島原市としての役割を積極的に推進してまいりたいと思っております。

「住み続けたい住んでみたいまち」の実現に向け

明けましておめでとうございます。令和2年の輝かしい新春を、ご家族皆様お揃いでお迎えのこととお慶び申し上げます。旧年中は、市政に対し温かいご支援とご協力を賜り、衷心より厚くお礼申し上げます。昨年は、皇位継承により新天皇陛下が即位され、「令和」という新たな時代が幕を開けました。また、10月には消費税が増税されるなど、皆様方にとってもいろんな意味で「変化」が感じられた1年ではなかったかと思えます。そのような中、市政において、私は、基本理念である「住み続けたい 住んでみたいまち」の実現に向け、鋭意取り組んでまいりました。

とりわけ、昨年は、ミルクやおむつなどの購入助成制度の創設や保育料の無償化、産婦健診の実施など子育て関係をはじめ、健康づくりポイント事業の開始、福祉タクシー・バス利用券の拡充など、皆様方の日々生活に関係の深い分野について、施策の充実・強化を図ってまいりました。これらについては、市民の皆様方から、直接、感謝の言葉をいただくことも多く、その成果を肌で感じることができ、大変嬉しく思っているところですが、しかし、一方、本市には、まだまだ取り組むべき課題が山積しております。ここで、令和2年において取り組む施策などについて、市民の皆様方にその一端を申し上げます。

まず、3月には口ノ津港の新ターミナルが完成いたします。フェリー、バスの交通拠点としての機能はもとより、口ノ津支所、歴史民俗資料館などの複合的な機能を備えた、新たな交流拠点として整備を進めます。市の魅力をゆつくりと巡り楽しめる仕組み「南島原スロー・サイクルの形成」を目指し、島原鉄道跡地を活用した自転車歩行者専用道路の整備推進を図ります。堂崎港埋立地については、本市産業の発展に寄与する土地利用のあり方を検討し、活用方針を取りまとめてまいります。教育分野においては、「有家小学校」「蒲河小学校」および「新切小学校」の統合と新たな小学校の校舎新築工事、ならびに新給食センターの整備を着実に進めるとともに、引き続きグローバル教育の推進をはじめとする児童生徒の学力向上に努めます。さらに今春は、本市の海の玄関口である新たな口ノ津港ターミナルがオープンいたします。世界遺産関連施設もすでに建設に向けた計画作業に入っております。また、昨年6月には、「島原半島うみやま街道」が九州で15番目、県内では「ながさきサンセットロード」に次いで2番目の日本風景街道に認定されました。今後は、世界文化遺産「原城跡」や島原半島ジオパークなど、自然と歴史、文化が数多くある島原半島と南島原市の魅力を発信しながら、本市への来訪者が増加して地域の賑わい、活性化に繋がっていくような交流人口の拡大への取り組みに努めてまいります。



南島原市長 松本政博



南島原市議会議員 林田久富

